

持続可能な部活動の在り方に係る有識者会議 あいさつ

皆さん、こんにちは。県教育委員会の斉木です。持続可能な部活動の在り方に係る有識者会議 第1回会議開催にあたり、ごあいさつ申し上げます。皆様方におかれましては、委員を快くお引き受けくださり、また本日はたいへんお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

県教育委員会では運動部活動と文化部活動のガイドラインをそれぞれ策定し、望ましい部活動環境の構築に努めてまいりましたが、今後、少子化の進展等により生徒のニーズに合った活動を継続できなくなることも想定されます。そのため、生徒の視点に立った持続可能な部活動の在り方や、教員の負担軽減などについて検討するため、本有識者会議を開催することといたしました。

会議の委員として山梨学院大学スポーツ科学部長の遠藤俊郎様、山梨大学教育学部長の中村和彦様をはじめスポーツや文化をはじめ関係の各分野で高い識見をお持ちの方々に協力をお願いさせていただきました。委員の皆様方におかれましてはそれぞれのお立場で忌憚のないご意見をいただきたく存じます。

私ごとで恐縮ですが、専門的に指導できる種目がない私も様々な運動部の顧問を務めました。野球の監督をさせられた時はOBや保護者からの無言の圧力からほとんど休みなく練習しました。でも本当にいい経験でした。やらされたのに、後でいい経験になっている。何事も予めその意義が確認でき、先が読めないと取り組もうとしない姿勢はできれば避けたいと思うようになりました。

あの先生はいつも副顧問、という不満を持つことが私自身よくありました。しかし教員になる前には想像もしなかった部顧問としての任務の大変さは、大変さのまま、後の自分の教員としての幅、ゆとり、余裕につながると思います。そのため今後も部活動が学校教育の中に適切に位置づけられていくことを願っています。以上、きわめて個人的な感想を述べました。この場限りで聞き捨てくださるようお願いいたします。

終わりに、この有識者会議で様々な角度から議論いただき、持続可能な部活動の在り方と、合わせて学校の働き方改革が前向きに推進され、学校教育がさらに充実していくことをご祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

委員の皆様方、どうぞよろしくお願いたします。